Pochamani Kaname Hirama Presents
ぽちゃまに
3
平間要

HC
ぽちゃまに
3
平岡夏

HANATOYUME COMICS
花とゆめ

ぽちゃまに

3

平間　要

ぽちゃまに3

第12話 …… 3
第13話 …… 27
第14話 …… 51
第15話 …… 77
第16話 …… 103
第17話 …… 132
第18話 …… 161

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。

ぽちゃまに

第12話

言わずにはいられませんでした

あたし

田上くん家にお邪魔してもいいかな？

その間ずっと
納豆しか
食べないってのは
ちょっと…
うまいけど?
しけません
ありがとうございました
そうだね 納豆は
おいしいよね
でもほら
栄養的な
面でね
つっても
料理
出来ないし
うん
だからね
あたしに
ご飯を作りに
行かせて下さい

やっぱりそっちか
？
？
はーっ
まあいーか
来て
紬のご飯食べたい

ぷに
ぷに
はい
ぷに
ぷに
ぷに
ぷに

よかった
田上くんは男の子だし
あたしと同じくらい沢山食べるし
部活だってやってるから
ちゃんと食べないと体保たないものね

さすが田上くんのご家族
なかなかに自由だなぁ
どんな人たちなんだろ
田上くんそーゆーこと ぶんまり聞きないからなぁ
あらっ
——って
少々留守にする
知らないの？
田上くん
今日から何日くらい一人なの？
——さぁ？
そういえば

はじめましての方もおひさしぶりの方もこんにちは羽間夢です。

この度は『羽間夢』③巻をお手にとって頂き誠にありがとうございます!

実はまた、家族前の漫画を描くという事で下着の事を考えるコトがありません。

いつかその光景を見れるでしょうかそれが今の私の夢です。

その日がくるまでは、まず本屋さんで下着売場ですね(出不精)

次は④巻の後へどうぞ(ぺこり)

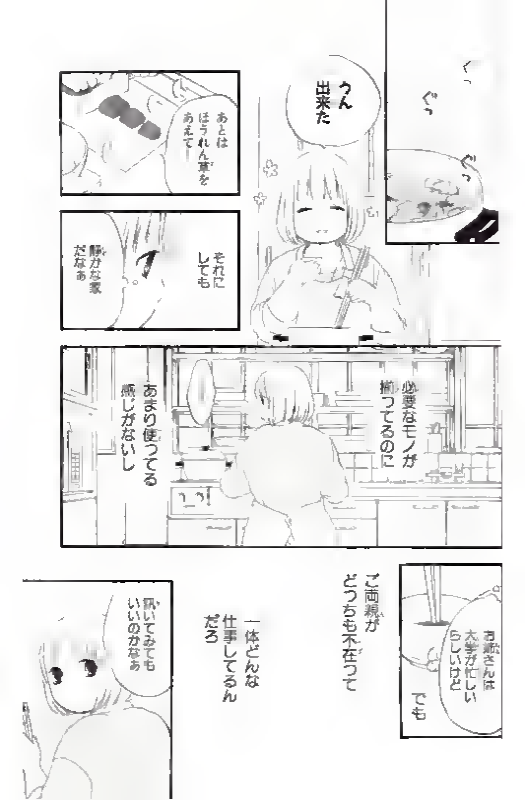
俺は
いつでも
そーゆーつもり
だから
もう
着くよ
え!?
この家
覚悟する時間
なかったよ
田上くん!?

どーぞ
ガラ
なんで
素敵な
狩より…っ
木と
畳のにおい
縁側の
風情
そして
この
掘りごたつ

素敵な
お宅ですね
出上くん…！
トキ
ドキ
日本一お宅をアピール
ドキ
ドキ
…俺見て そんな顔
したことないよね？
ぽー
…
ほわ～
きっと
背を
記した跡
あぁ
あたし
今
出上くんが
ずっと過ごしてきた
家にいるんだ
ここから
4年後に
あたし成長えるんだ

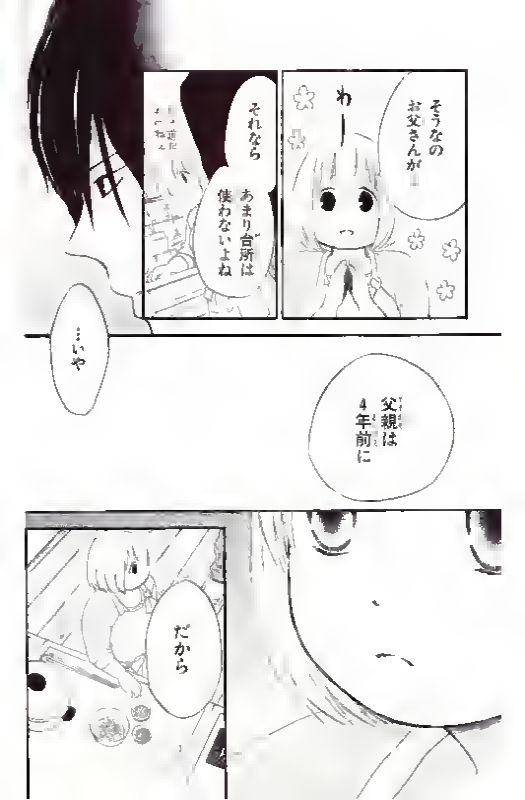
田上くん
大きく
なったねぇ
紬？
逢えて
嬉しいよ
いけない
…

ばっ
すっ
ぱ
そろそろ
お色所
買りてもいいかなぁ
ゴ
ト
ト
時間
あれ!?
田上くん
どうしたの!?


ぐっ
ぐっ
うん
出来た
あとは
ほうれん草を
あえて
それに
しても
静かな家
だなぁ
必要なモノが
揃ってるのに
あまり使ってる
感じがないし
ご両親が
どうちも不在って
弓道さんは
大学がたしい
らしいけど
でも
一体どんな
仕事してるん
だろ
聞いてみても
いいのかなぁ

お腹減った？
もうちょっと待っててね
うちんか奥さんみたいなコトを
はっ
「幸也ちょっと待っててな」
誰かが台所に立ってるの
久々にみた

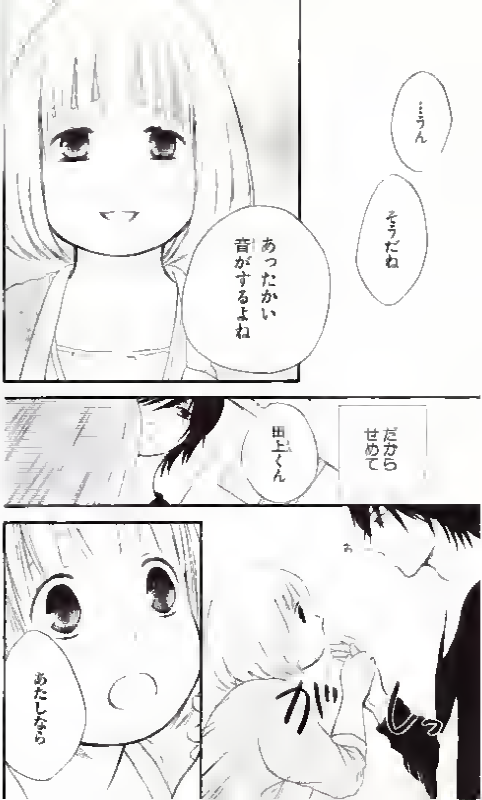
ねぇ
田上くん
田上くんの
ご両親って…
…？
話してない？
こくん
――家は
父親が専業主夫で
母親が働いてる
家に居ないのは
母親が仕事で
北海道に行ってるから


そうなのお父さんが
わー
それなら
あまり台所は使わないよね
…いや
父親は4年前に
だから

それ以来
あんま使ってない
俺ら
姉弟とも
料理
できねぇし
ぱかっ
親父に
少しくらい教わっときゃ
使えてただろうな
…そう
だったんだ

何か言ってあげられたらよかったのに…

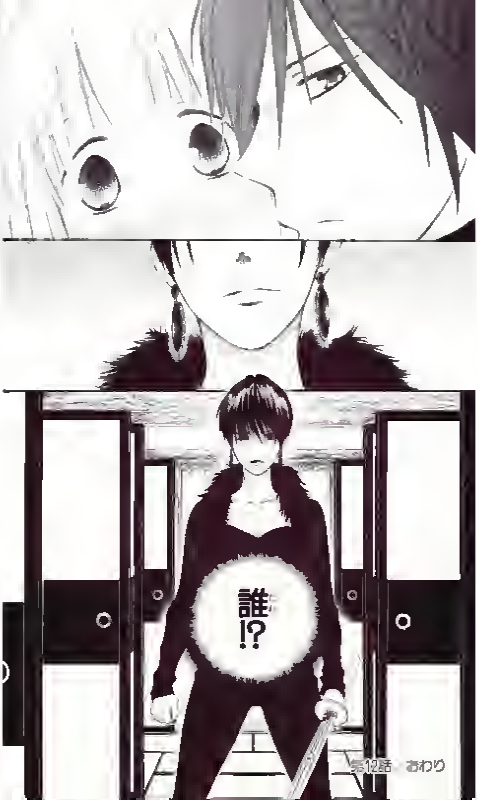
ええの
ずっと
幸れてたけと
姉が来てくれて
思い出した
誰かが自分のために
ご飯を作ってくれる
言っていいもんだな


…うん
そうだね
あったかい音がするよね
だからせめて
出上くん
あたしなら
ガッ

この家が
静かな時は
いつでも
作りにくるからね
その音を
あなたに
じゃあ

その時は
泊まっていってね

へ!?
あっ
う…
早く返事して
塞ぐから
え!?


誰!?

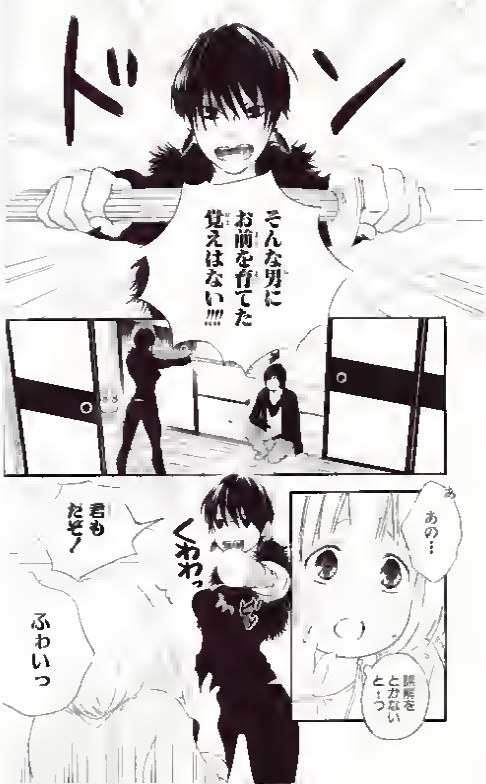
第13話

この人は一体……
……
え

ガッ
くわっ
発情成敗!!!!
ひょー
えー
ええー!!?
どっニーいしょ★
どっちょん★
和 ちょっと離れてて
ヒュ
危ないつつ
田上くん!!
は

パシッ
ギ
ギリ
ギリ
ギリ
おかえり
ねーちゃん
お

お姉さん!!?
うむ
今帰った
だがな幸也
私が留守なのをいい事に
女を連れ込むとは何事だっっ!!
こそこそするなど男の風上にもおけん!!
あ、お顔がまんま田上くん


ドン
そんな男にお前を育てた覚えはない!!!!
あの…
誤解をとかないと…っ
くわわっ
君もたぞ!
ふわいっ

婦女子が男の家に上がり込むとはどういう事かちゃんと理解しているのか!!

ぐうううう
ねーちゃん
とうしたんだろ……
大丈夫か…
ぐ
うん
僕がご今飯がが何もロ
…で
あんま寝てなかった訳ね
寝かせてくる
平気
手伝っよう?
わ
ぐーうううう

はい
お姉様の登場です。

ずっと出番です。

なので描いてて
楽しかったです。

「あーコレ
田上の女体化だ」
って。

田上姉は
描くのが楽しいです。
特に気も。

描かれた
触りたくなるような
気もを描けるように
なるのが目標です。

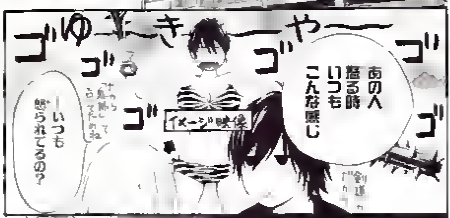
精進！

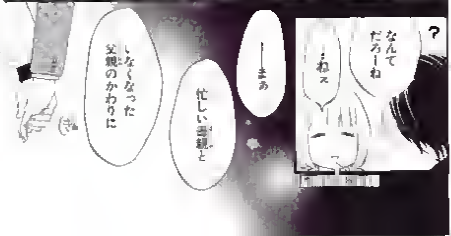
井上くんが
来てくれたし
ちょっと
話したいだけ
それより
お姉さん
大丈夫かな
倒れるなんて
会社大学が
大変なんだね
医者に
なるって
そうらしい
例えるまでは
あんまないすど
17
あ猫さん
お医者さん
目指してるの?
将棋も
そう
お医者さん
なの?
こくり
そっ
そうなんだ
詳しい事は
言わないし
訊かないけど
大変なのは
みてれば分かるよ

そっか

自由にしてるようで

みてるんだちゃんと





自分がしっかりしなきゃと思ったのかもな
あの人すげー真面目だから
でもって
優しい人だよね？
さっき見つけたの
お姉さん手上くんの好物買ってきてくれてたんだね
もしかしたら今日は頑張って早く帰ってきてくれたのかなぁ

無理しなくていいのにな
自分の方が忙しいんだから
自分がどんなに大変でも
甲上くんのことはほうっておけないんだね
ちゃんとみてくれてる
素敵なお姉さんだね
「幸也
これからも
私は
傍にいるからな」

……だな
にこにこにこにこ
……
照れ隠しがらなくてもいいんだよ
そーゆうコトちゃんと分かってあげてるなんて田上くんも器の広い男くんしゃない
先刻の今でいちゃつくとはいい度胸だ

寝てなくていいのかよ
はじめまして 本橋柚と申します
……
お体は大丈夫ですか？
あたしも
…あのよかったら

食べて頂けませんか？
ちゃんと知ってもらいたいなぁ…
台所をお借りしました
俺一人だと納豆ばっかり食うから
体心配して作りに来てくれたんだよ
…それでも
ご本人の時に無断で上がり込むような事をして
すみませんでした

紹介が遅くなってごめん
ねーちゃん
この人が俺の大事な人
本橋紬さんです
よろしくお願いします
紬さんとやら

こちらこそ
訳もきかず
失礼した
それと
愚弟の体を
気遣ってくれた事
感謝する
…お姉さん
だが
しかし
交際してる
とはいえ
いや
交際
してる
かもしれない
男の家に上がり
はいっ
ぐうう
ねーちゃん
のは
ぐうう
ぐおー
とりあえず
メン食わせて
もらったら?
我が家に
こんな料理が並ぶのは
実に久しぶりだな

なのに
まぜ
まぜ
まぜ
まぜ
お前は
それを食うのか？
俺は
これでいいの
まぜ
まぜ
にこにこにこにこにこにこ
お前は
ねば
ねばっ…
こんにちは
お邪魔してます
誠司と
テキてると
思ってた
そ
そんな目で
みてたのかよ
お前の部屋を
掃除しても

女体本が一冊も出てこないからなてっきり異道の気があるのかと…
俺の性癖に合う本がなかっただけだ
…どんなプレイが好きなんだっ
珍しい性癖ですね
あ、その…
ただ単にぼっちゃり女子が好きなだけだ
ほぇぇぇぇ
ぷり
ぷり
いい！
ぷり
うむ
もみ
もみ
もみ
くわ!!
兄以外も団上くんとそっくりかも
確かにこれは気持ちいいな
や、柔!!
…このアイかい
おいねーちゃんそれ俺のだかち
この様子だと
あ
触んな
ぱ
……
奪還

秘密にしてた方がいいのかな

お姉さんと一緒の田上くんを

可愛いと思っちゃったのは

俺ら
いろからこ
…大きくなったものだ
え…

今日は
お会いできて
嬉しかったです
うむ
また
よけな
ことか？
なに

「手作りにはまだ早いぞ」とな
そういえば海也お前 やり方は知ってるのか？
教えてやるか 味は厳しいぞ 医学を学んでいるからな
……
知ってるすげー 知ってるから
『また来ればいい』
私もあんな料理を
作ってあげたいのでな」
——ええ
お姉さん
喜んで

第13話 おわり

第14話

どうしてか

いい笑顔してるしな
彼女の笑顔を最初にみたのは
中学の時
お前どんだけ食ってんがよ
たくさんかな
食べるの好きです

あんなものを
武器に
ふしゅううう
?
何かと戦う
人間をみたのは
少女が
はじめてだった
たからまるっこいんだぜ～
その
笑顔をみて
あたしは
あんたと
友達に
なりたいと
思ったんだ

彼女
本橋瑞とは
高校に
上がった今も
一緒にいる
ごめんね
まみちゃん
実家
都活まで
来ちゃって
むき
どうしたの？
まみちゃん
ウッス!!
乃村先輩!!
これ
タオルっす!!
いや!!
先輩!!
自分のタオル
使って下さい
っす!!
先輩の
匂い
がっこ
よかった
っす!!
洗濯
しなくて
すみます
持ってこるから

ひぃ
これ 教室に 忘れてたよ
ああ 悪いな 助かった
ゴソゴソ
ごそごそ
ん
ぽん
ぽん
おつかれさま
みるからに 柔らかそうな この体の中に あるのは
それ以上に やわらかくて あつたかいモノらしい
ありがと

傍にいると
こっちまで
あったかくなる

今まで何回しか出てこなかった千里寺くんですが今回もセリフとか出てこなかったですねぇ。

いつ出せるのかしら。

そもそも全く考えてるのかまわかすら！なのは彼の前だけなのでイは描いてみたいものです。

まわりの登場人物の中で今の所一番男前だと思うので。

「もしも　あたしが男だったら　絶対にむきを好きになってた」

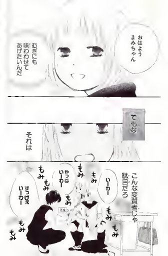
だけど
て？
ん？
俺のまみちゃんは
とんなお嫁さんに
なってくれるのかな？
…そ
そんなの
わかるわけ
ない…っ
そんなまなど
どーでもいい
男が
世間の大半を
占めている
つきあってくれないっ

あ、
その
ヒナ様？
てか
顔打ったー
ずーん
中身
無視かよ
正直
こういうことが
少なかった
わけじゃない
あんた
あたしの名前
言えるか？
あ、
ああ
言える
言える

野宮まみ
「乃村」だ
やっぱり
ゴッ
ゴゴゴッ
男ってのは
相当馬鹿な
生き物らしい
でも
とうした？
…んぅ
そんな
悔しそうにして
思い出し
ムカツキ
顔
見えない
じゃない
？
見なくても
分かるって

よみは
悔しい時は
無口になるから
そうなの？
あ…コレ
怒ってないから
あんま出しちゃ
駄目ね
怒ってる時は
同じ顔リカ出る
こないだとおんなじ
て恥ずかしい時は
眉間にシワが出る
でも顔は真っ赤
嬉しい時は
素直に笑ってくれる
……
今は眉間にシワが出てるね
て顔は真っ赤
ピポーン
……
ほほ
分かるんんな～
これが

なんで？
見てきたから
傍で
すっと君を
……
そう
こんな男も
世間には
確かにいるんだ
だから
あたしは
この想いを
カタン。


おはよう まみちゃん
むぎにも 味わわせて あげたいんだ
でもな
それは
こんな変質者じゃ 駄目だろ
いーわー
もみ もみ
もみ もみ
やっぱ いーわー
もみ
もみ もみ
すっげえ いーわー
もみ もみ

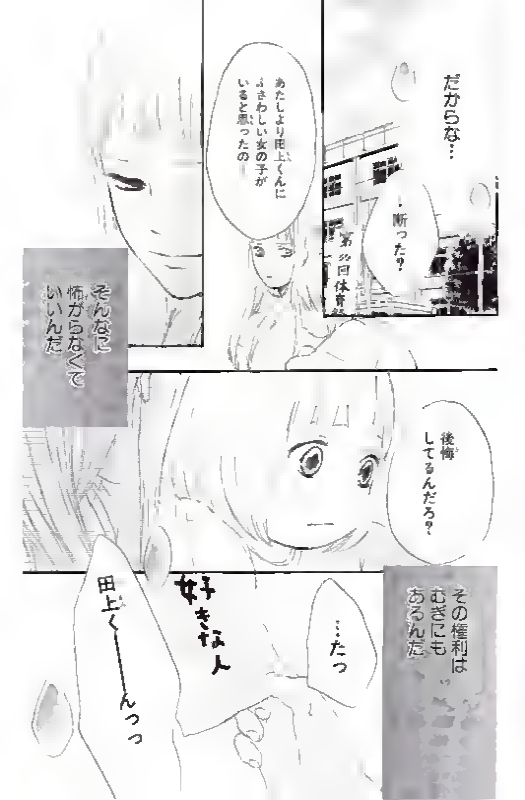
"滅びよ変質者"
ずうううう ううううん
大丈夫か こいつ
うるさいあ
おねがせ
!
ぁ
ぐっ
この男
馬鹿よりもっとタチが悪い

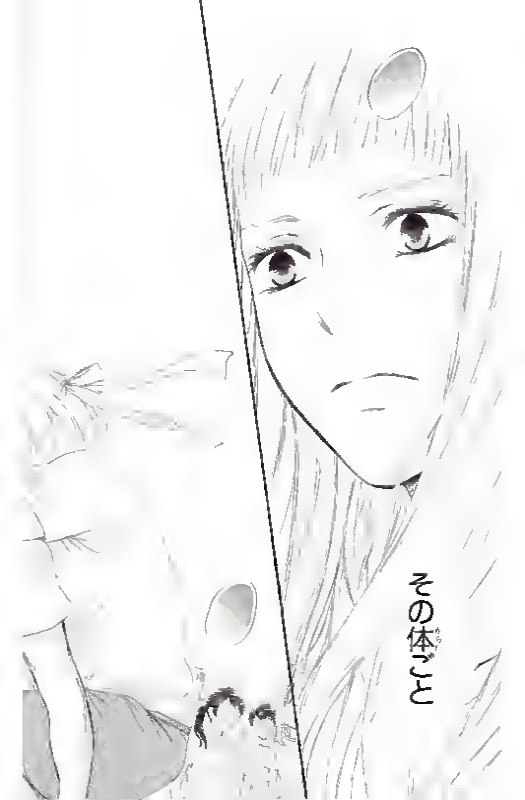
なのに
神先輩の
怖がることは
もうしません
だから
僕と友達から
はじめてもらえ
ませんか?

2-C
怖いなら
行かなくても
いいんだぞ
うん
でも
約束
したから
いってきます

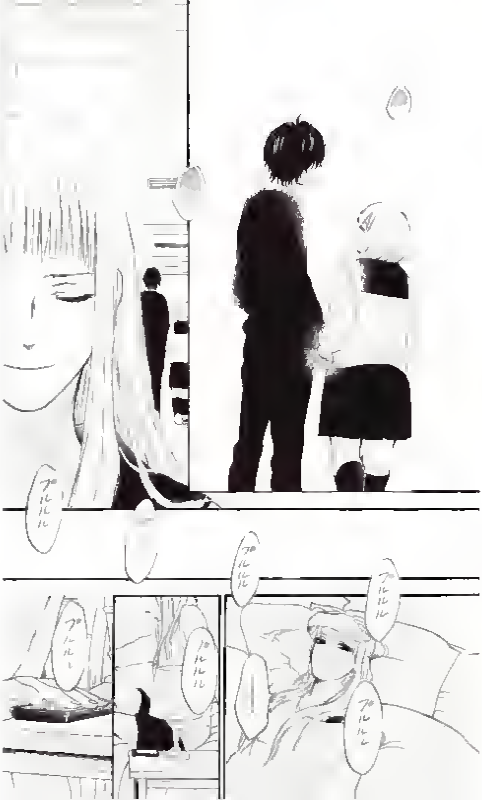
TOILET
あれから
変事もお祓いは
してこないみたい
だけど…
へえ
それは

目の前の幸せをのり越えようとする
あの時の笑顔じゃない
…どうやら
あたしも中身を見てなかったらしいな
あんな笑顔をさせてあげられる奴だったのか
なあむぎ


だからな…
断った？
第○回体育祭
あたしより田上くんにふさわしい女の子がいると思ったの
そんなに怖がらなくていいんだ
後悔してるんだろ？
その権利はむぎにもあるんだ
…たっ
好きな人
田上くーーーんっっ


その体ごと

しあわせになっていいんだ


プルルル
プルルル
プルルル
プルルル
プルルル

ヒ
はい
ん？
うん
大丈夫
ちょっと色々思い出してただけ
ウチ
へえ
どんなこと？
なあ
むぎ
あたしが
男だったら
誰よりも
むぎを
しあわせに
するのに
——って
前にそんな事
言ったの
覚えてる？
あれ
あの
言ってたね
逃げたみたい
もしかしたらな

あいつ以上に あんたを幸せに出来る奴は
いないかも知れない
…そうか
でも
嬉しそうだ
あたしは
多分
待ってた
誰よりも
ずっと
それを

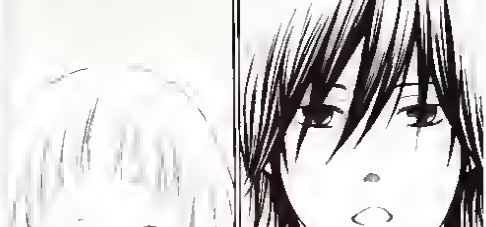
待ってたんだ
また
頭なんて見えないでしょ？
また
知らなかった？
まみの気持ちはね
俺には全部
伝わるんたって
あたしは女だから
この男が言えてくれるようなモノは
あの子にはきっと言えてあげられない
だからどうか
ようやく現れた
あいつなら
とうか
真実を
て？

まみから
今ふたりは
どう見える？

幸せ
そのもの

それが
あたしの
願い
第14話／おわり

第15話

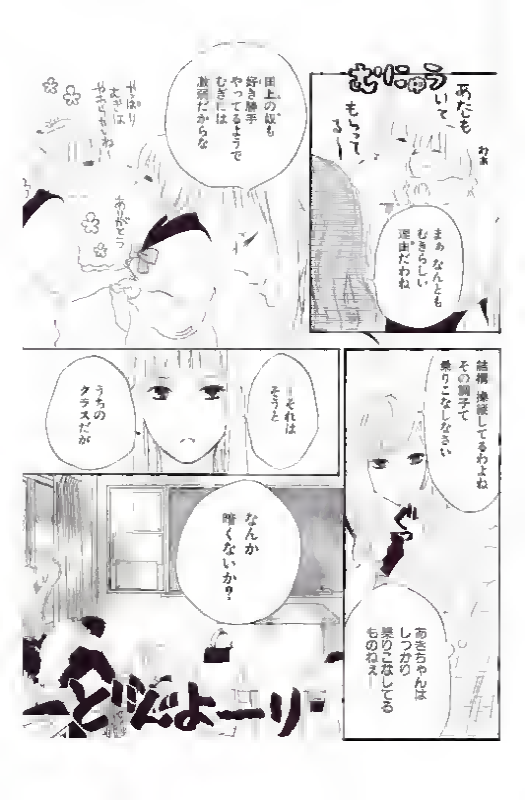

やだ
そんなコト
言わないで

お昼、別々にするって言っても
クラスに慣れるまでだから
ね？
いやだ
でも
ほら

やだったら
いやだ
…そっか
しゃあ やっぱり
アレしかないね
？

「お触り禁止令」？
3-A
それはまた
触りたがりの
田上には厳しい
でしょうね
おかげで
渋々だけど
了承してくれたの
お触り
禁止令
でも
なんでそんな私？
お昼くらい一緒に
食べてあげれば
いいんじゃない？
うーん
でもね
2年生って
クラス替え
あるでしょ？
そうね
田上くん
新しいクラスに
あんまり知り合い
いなかったらしくて
(ぱっ)
(ぱっ)
えっ
たかっ
クラスに
慣れるまで
お昼は勘弁
してあげて
慣れるまでは
いいんじゃない
なのかと
思って
あのキレーな
幼なじみの子とも
離れちゃったの？

きれい？
あ 誠司くんのことか？
うん 同上くんは理系だけど誠司くんは文系なんだって
へー
てゆーか
クラスに慣れさせようとかめってむき あんたまるで里上のお母さんだわ
たな
あはは
でもクラス替えって最初が大切かなって
あー 一度ダルーブできちゃうと 最終入りづらく なっちゃうしねー
好きな友達がいてくれるだけで学校って楽しくなるよね
思うの
お昼休みって友達と沢山話せるいい時間がし
それに
あたしに皆がいてくれるみたいに
むぎったら：
じーん


もにゅう
あだも
もって
まあ なんとも むきらしい 逆走だわね
国上の奴も 好き勝手 やってるようで むきには 放任だからな
やっぱり よさは わさもっわね
ありがとう
結構 堪能してるわよね その調子で 乗りこなしなさい
あそちゃんは しっかり 乗りこなしてる ものねえ
それは そうと
うちの クラスだが
なんか 暗くないか？
とらドル よーリ

「受験」という暗黒空がね
ザワ
始めてるからよ
はじまりの季節の春を迎え
田上くんは2年生に
あたしは3年生になりました
・急に・実感してきた
そっか
そうだよね
来年の今頃にはもう
あたしは高校にはいないんだね
そろそろ始めないとかな

4
この回の話は
「雑誌から
個紙者募民
出てきて～」
でお察しでしょ。
修羅にあるまじな
シーンは
私には
とても とても
難しかったです。
精進
3
ピー
カタカタ
よしっ
まず
調べて
みなきゃね
弓道部の
一年生かな
制服が
ヒカヒカ
田上くんも
もう部活かな
大会があるから
遅くまで練習
してるみたいだし
だからうちは
一緒に帰ってないん
だけど
そういえば
なかったかも

つきあってから
田上くんとここまで一緒じゃない日って
ローい
脳に栄養をどーぞ
栄養補給しなきゃいけないほど勉強してないでしょともは
してるよー
もっ深に
普段の10たよ
あんた
普段とんだけ勉強してないのよ
国実にな
つーかとんは
やっぱりやってくる
普通さっぱり忘れるとか
そんな～～～
やつばり

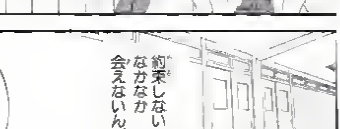
当といると
楽しいよ
2-D
だけど
おい
これってあれか？
夢の中で二の腕揉んでるのか…？
高速もみもみ
高速もみもみ
もみもみ
もみもみ
もみもみ
もみもみ
やっぱりこうなるのか！
上腕限定
…少しだけ
ものたりないの

いつも
あなたが
隣れていたから

林しんでしょ？

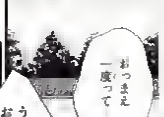
あきちゃん

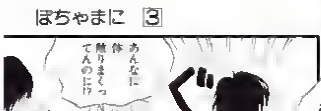
？
なんの話？
学校って
結構広かったんだねぇ


約束しないとなかなか会えないんだ
ずっと訊きたかったんだけど

あ、デート最中とかしゃなくて
A日Dのお昼休みでも
その間口が
空いてない？
ど？
どうなの？
どうなのぅ？
え？
とこって…
あ、通学路とか
キスしてよ
な

ふられたばっかだし
だから口説しーん
知るかこのキス魔が
とっくに絶交と言った度ちゃってるんだな
俺上はいーよな
一度しかしてないけど？
あ？
マジで!?


おつまえ
一度って
うそ
おっしゃい!!

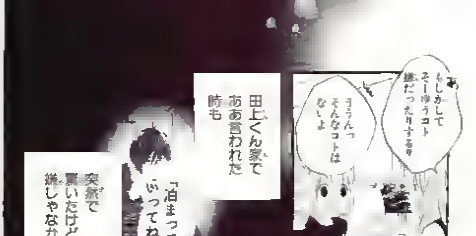

あんなに
体
触りまくって
人のにけ
なんでキスは
しねーの!!
ぐっ
ぐぐ

なんて
って
ゴホ
ゴホ

性欲
強いから?

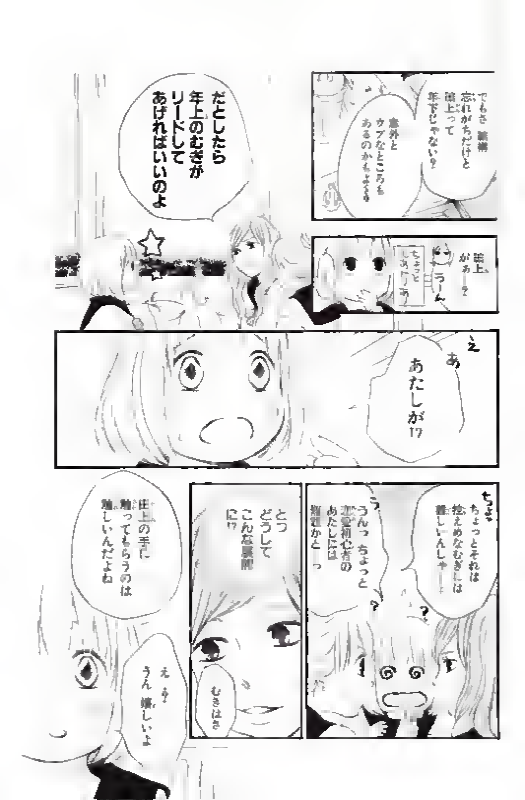
ちょっと
意味が
わからないんだけど

つき合ってから
結構経つのに
ねえ……


あ
しかして
そーゆうコト
誘だっ…んりょするも
ヨユウん
そんなコトは
ないよ
田上くん家で
あお言われた
時も
「泊まって
いってね」
突然で
驚いたけど
嫌じゃなかった

嫌なんかじゃ
ないよ
でも
田上くんが…

ガチャ
あいつは
ほー
内食なのか
外食なのか
よくわからんわ
えっ?
あーはははは
してくれ
ないの?


でもさ 結構 忘れがちだけど 笹上って 年下じゃない？
意外と カワイなところも あるのかもよ
笹上 かあ～
うーん
だとしたら 年上のむぎが リードして あげればいいのよ
えぇ
あたしが!?
ちょっ
ちょっとそれは 控えめなむぎには 難しいんしゃ…
うんっ ちょっと 恋愛初心者の あたしには 難題かとっ
とう どうして こんな展開に!?
むぎはさ
えぇ
うん 嬉しいよ
笹上の手に 触ってもらうのは 嬉しいんだよね

…じゃあ
聡は？
もう一度
唇で唇に
触れてほしく
ない？
…やだ
どうして
こんなに
顔が
あついの
ねぇ
むぎ
あたし壊れっの

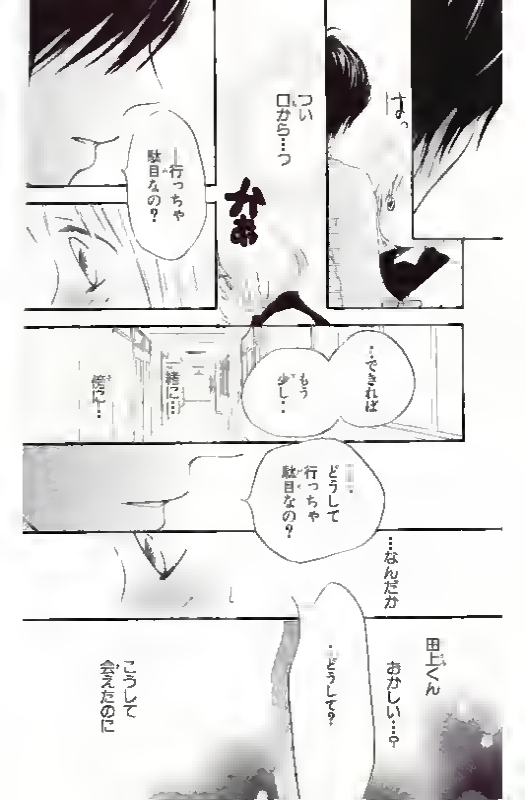
女から言うのは恥ずかしい事じゃないんじゃない？
余計なお世話だろうか
お前ら大丈夫なのか？
なんで？
お前 彼女に触ってなくて禁断症状出てるだろ
昼以外でも最近 一緒にいねえし
ああ
緋の気持ちはありがたいんだけど
ちょっと傷しかったんで意地はってみてる
意地？

「会いたい」
――って
思わせたいだろ
国土――
なんが担任
呼んでんぞー
あ
忘れちゃってた
なんそ
くくくく
お米袋
学校
まだ残し
取りに行って
くるね
一緒
行くわよ
大丈夫
今日は断せて
しかったよ
ありがとう
あきちゃん
ともちゃん

…なんだか
急に
自覚してしまった――…

田上くん
やっと会えた
何してるの？
あ
忘れ物取りに来てた
なんか変
た
がみくんは
うまく話せない
目線出し忘れてた
久々に会うと
こんなに緊張するものなの？
それなのに
どうしても田上くんから目が離せないの
久しぶり

うん
田上くん
わたしね
自分で言ってこわいの
本当はちょっと
後悔してたの
一部活
抜けてきたから
行くわ
え
もう
行っちゃうの？


はっ
ついて
口から…っ
行っちゃ
駄目なの？
カポ
…できれば
もう
少し…
一緒に…
彼方…
どうして
行っちゃ
駄目なの？
…なんだか
田上くん
おかしい…？
どうして？
こうして
会えたのに

どうして触らないの？
…うん どうして？
…キス…して ほしいから……
なつ
なにを言ってるのあたしっ？
どうしよう
どうしてって そんなの——

「唇に唇で触れてほしくない？」
あんな話してたからって
たがっ
たがみくん
今のわっ忘れてっ
あわ
あわ
あわ
田上くんじゃなくてあたしがおかしくなってたみたいっ
狙った以上の言葉をけんな
忘れて下さいっ
でも
…いいの？
はっ
へ？
はいっ
お願いだから忘れて

どうして
こんなにも……
口唇を触れられるって

え？

田上くん――？

第15話　おわり

第16話

たつ
田上くん……っ

確かに
あたし

「キスして
ほしいから」

でも

あんなコト
言っちゃったけど

急に
こんな…

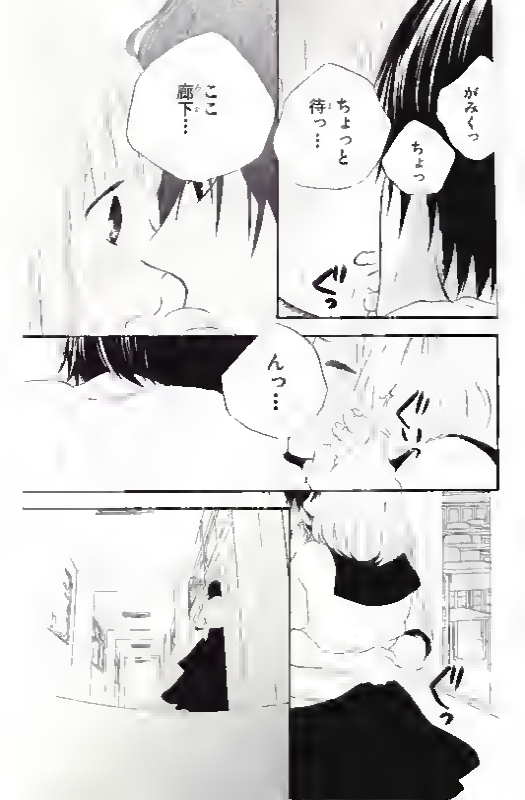
2-A

それが
どうして
こんなコトに
なるの……っ

こんな所で……っ

っ

たっ


がみくっ
ちょっ
ちょっと
待っ…
ここ
廊下…
ぐっ
んっ…
ぐっ
ぐっ

…っ
ちっ
違うよっ
教室なら良いとか
そういう問題じゃ
なくて…っ
ビク！
だから
そこはっ
…んっ
ここじゃ

……ダメっ
……うん

……ここじゃダメだった
実っ走って
……ごめん
怖かった？
……
ううん

怖くはないの…
…でも 突然で
すごく 驚いた……
やっぱ 覚えて なかったか
何を？
"俺はいつでも そーゆーつもり だから"
あ

あの時
言われた…
あのね
結
…そう
だったの？
当然でしょ
…まぁ
だから
一緒に遊べて
なかったけど
無理には来ないから
それでも平気になった
のかと思ってたの
禁断症状
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅむ
ぎゅむむむ
俺は
相当我慢
してる

ここは無理

あの時は
なんか
すげぇ
大切で・
それで
我慢は
出来たけど・

今は無理だった
触ったら
全部
触りたくなった

我慢はきかない
あの時より
紬か
もっと大切になってるから
…そんな風に
思ってくれてたのね…
あぁ
そっか
だから

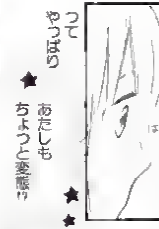
あたしも
あなたと……
……
……今さっき
コレは無理って
……？
うん でも
して欲しそう
だったから
そんな
ことは…
ことは？
？
かぁー
たってね

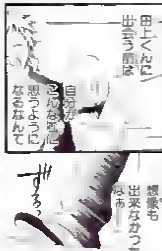
あなたの唇は
とてもとても
優しいから
まあ
ずっと我慢
してても爆発
するのが早く
なるだけだし
そしたら
無理やり
襲いそーだから
それよりは
小出しにしといた
ほーがいいでしょ
さっきも充分
無理やり
だったけど…
でも
ほどほどに
あ
あと
場所は選んで
…ね？
よかった
え？
ふるえ
止まってる
あー
でも

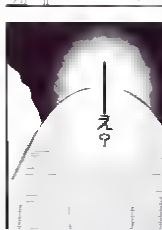
やっぱり我慢
できなくなって
その内 襲っちゃうから
やっぱり
とっつみち覚悟が
必要なんだね
ずるいなぁ
そーゆー
こと
そんな
優しい触り方して
だから
どうしても
〝嫌〟だなんて
言えなくなって
しまうの

よかったね～
田上との
お昼の時間
復活して
田上
楽しそうでよかったのね～
うん
久々に
天山もまれて
きたよ
もみ
もみ
もみ
もみ
もみ
田上ってば
安定のキモさっ
あはは
キモくないよ～
昨日だって
強引だったけど
決して乱暴じゃ
なかった
…もしかしたら
あたし
田上くんになら

ドコを触られても
感じないんじゃないのかな……







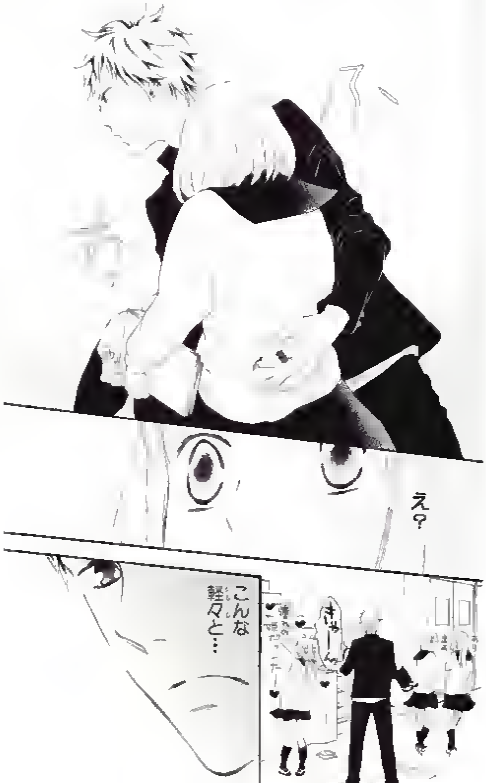
のっけの話を
描いてる時は
思いもしなかった。

ここまで
エロ重視！
脱いで
描くのは
ほぼはじめて
が
勉強に
最適かも
知れない。

もっちょっとだけ
続きが描けそうな
なので
おねだり頂けたら
とても嬉しいです。

おねだり
頂けるように
頑張ります。

とすーんっ
ぷにょ
むぎゅーっ!?
ん?
大丈夫ー!?
パタパタパタパタ
ぷにぷに
ん?
なんか
やわらけぇと
思った
大丈夫
だよぅ…
ついた
ピキッ
足!?
痛いの!?
ほっ
保健室行こうっ
歩ける!?
ザワ
ザワ
大丈夫
落ちついて
ともちゃん
むぎゅー
ん?
ぴけ


え？
こんな軽々と…
きゃーん

お前
重いな
ちっ
……はっきり言うなよ……
ふっ
ふふっ
ふるふる
ふふっ
はい
？
そうだと
思います
久しぶり
だなぁ

ここまではっきり言った人は
あの 縁ろしてくれて 大丈夫ですよ
自分で歩いて行けますから
できるかよ
つーか
思ったほどじゃねーし
保健室
どう？
っ
痛いかー
あーあ
んたが足元よくみて歩かないからよ

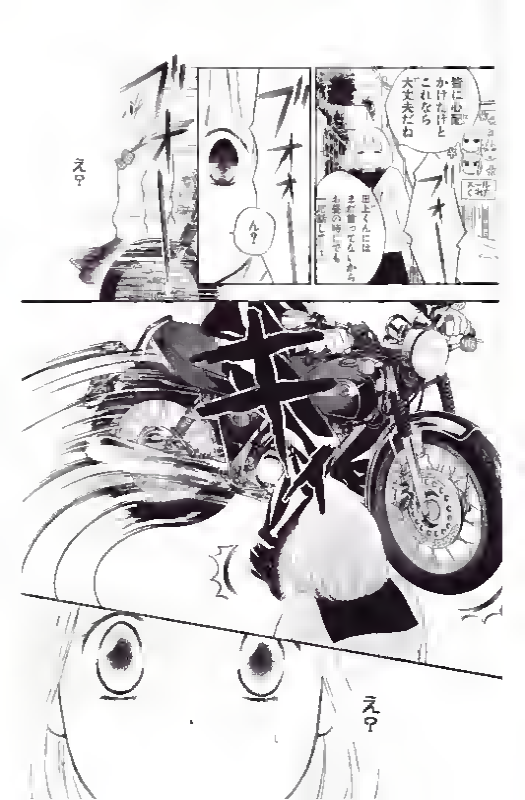
檜山 徹
あ？
あろ？
ひゃっ
ぐりっ
ガタ
何がしっ
この青春劇場は？
足ってえんだろ
俺が通り魔に
なってやるよ

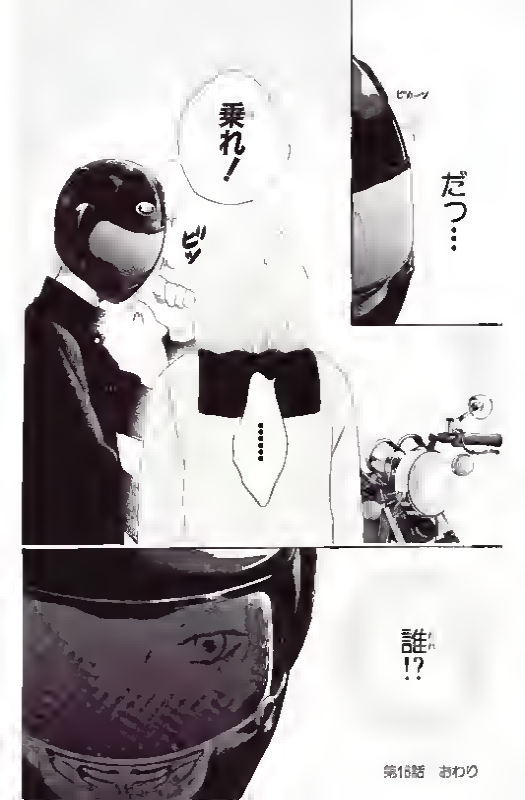
とか何とか
言っちゃって
授業さぼりたい
だけだろ
そんなんじゃ
ねーよ
授業なんて
さぼることにも
もう慣きたしな
教師の前で
言うなよ
しゃあ
赤根さん
先生に色々準備
してくるから
すとん
ぉ
はい
しーん
ぐしゃ
隣のクラス
だけど
榎山くんとは
一言も話したコト
なかったなぁ
ギィ
ギィ
ぐしゃ
伝わる
大きいから
実はあたしも
少し前から
気づいてたけど…
でも
おい

あ
はい？
ギィ
他は大丈夫か？
ギィ
へ？
「へ？」じゃねーよ
俺の下敷きになったんだ女のお前にはしんどいだろ
…この人
多分……
いくらそんなクッションみてえな体でも
ふっ…
さっきもそうだったけど
ははははは
？
あ
不思議だなぁ

全然 嫌な気持ちにならないや
大丈夫です
おかげ様で この体は弾力性があって頑丈なの
それに 慣れたんだけどね
あたしがクッションになってなかったら
植山くんがあたしよりもっと大変なコトになってたんじゃないかなぁ
あたしの足はきっとすぐ治るだろうし
だからね
これでよかったなぁ……って
そーだ 植山くんはとっか痛いトコないの？
一緒に病院行かなくて大丈夫？
あたしがクッションになれてなし所でとっかふっけたり
おっまえ：

本橋さん
きみ
行こうか
ひょこ
ほら
檜山は
授業に
戻る
つきそいごくろうさん
ガチャリ
本当に車で
送らなくて
大丈夫～？
大丈夫だよ
おにぃちゃん
ハンドル持つと
性格かわっちゃう
ねこのえ
うん
少し
痛いけど
全然歩ける


普に心配かけたけど これなら大丈夫だね
ブォォ
スーパーくん
ブォォ
ブォォ
ん？
え？
え？


ピルーッ
だっ…
乗れ！
ビッ
……
誰!?

田上 茉莉也
身長 169cm
体重 55.5kg
血液型 A
好きな食べ物
緑茶
趣味
剣道
田上

かき氷
氷
第17話

りんご飴
りんご飴

木原 誠司（きはら まこと）

身長　177.9cm
体重　58 kg
血液型　AB

好きな食べ物
特になし
趣味
読書

ズ
ズ
ズ
ズ
「乗れ！」
ど…
どなたですか？
あ？
あぁ
あの…

槍山くんっ
そういえば
うちの制服
でも
どうして
ここに！
分かったな
じゃあ
ビシッ
乗れ！

えっ
あ
でも…
くわわ!!
はっ
はいいいっっ!!
四の五の言わず
乗れ!!
こっ
これは
これは
とうやって
乗れば?
跨げ
タイヤ
大丈夫
だよね
足は
どこに?
そこだ
…左足
ひっかけられるか?
はい
大丈夫です
もしかして

足を心配して？
ホントに乗っちゃったけど…
おいっ
あ、はい
行くぞ
こう？
しっかり掴まってろ
ぐーっ
わわっ
ぐいっ
はっ
グオン
いいいい――っっ

怖いです――っっ

今朝 ひやまと バイクで来たって ホント!?
?
おしっ
あぅん 何だか そんなコトに
…あれ?
M になり
何て ともちゃん 知ってるの?
そんな コトって 何!?
何て そんなコト に!?
あれから 何があった の!?
ぱっ
もしかして
逆に何か 奪われたとか …!?
ごくり…
なに 当然もなく 俺の下敷きに なってんだ?
あぁ?
イメージ映像
すみません…!
そんなコトは ねえ…

「目の玉」の言わずと
知れた…!!
くねくね
なくもない…?
どっちぃぃ!?
なんか
よく分からんが
ひやま
って誰だ?
ふぃ
ふぃ
低血圧
身長115cm
体重72kg
その大きい
身体と
荒い態度で
女子だけじゃなく
男子からも
姉がられてる
やんちゃガイ
それが
槍山徹正よ
大人っぽい

ああ
ひやまって
隣のクラスの
檜山の事か
あれ？
あたし昨日
説明したよね？
ラクラ
イケメン
おっまいのがアワーってふぶきがむにゃってなってぐにゃってなってなんかり早退すって
聞いたが何言ってるか分からんかった
うん全然
彼
バイクが好きで
学校にも堂々と乗ってきてるわね
みんなかりね
情報屋よ
で
その乗り心地はどうだった？
本條さん
え…？
姫だっこの翌日に一緒に登校なんて
あなたとしては？
所構わず腕りまくる変態王に学校が尽きて

檜山とデキちゃったのかしら？
ぴきっ
バイクの免許が取れて　です。
ですが運動神経がゼロとは言わないまでもマイナスなのです。
なので速攻事故って死ぬかと思いますので　止めておきます。
原チャリ免許は持ってますが普通に転がってます。
それはそうとバイクの運転と運動神経が関係しているのでしょうかねえ。
とんでもないっ
ぷるんぷるん
檜山くんは事情があって来てくれただけです
あらそう？
あみえて檜山って女性経験豊富みたいだしねぇ
まさかー
最低っ
あっても年上の女に対処される程もね
あっ今の表情はふふ
まあ
そんな本橋×檜山系の情報の問い合わせが今日だけで5件かあってね
そっか・・・
嬉に

椿山くん
堂々としてた
ものねえ！
着いたぞ
正門
もしかして
椿山の方が
ウワ
むぎの上に
乗っかっちゃって
その柔らかさに
目覚めちゃって
そして
また一人
ぼっちゃりマニアが……!?
田上に
ライバル
登場じゃ
ないの!?
ごそごそ
ほらリア充通で
よくあるわ!?
ともちゃん
落ちついて
ゴバッ
とにかく
本橋さんのおかげで
餌付けさせて
もらってるわ
フフフ

もっと幸になることしてくれてもいいのよ…
やめなさい 被女の鳥の様止めちゃうから
おーほっほっほっ
困ったなあ…
あれ 何かあんのつ？
嫁になっちゃったのはしょうがないとして
田上くんが聞いて誤解しちゃったらどうしよう…
なんでここにいるの？
もっく
もっく
もっく
絵は用事

ドカ
せっかくクラス離れたのに
じんじん
…さあ？
ゴン
絶先輩の席ってどこ？
ザー
濡へ
ホント まっすぐ他人を信頼するよね ゆきは
ちょっとは心配した方がいいんしゃないの
……
確かに…

今以起きては
いたけど
そこに
やましい事情は
ないんだし
ちゃんと事情を
説明すれば
田上くんなら
きっと
よーし
こっくり
放課後
会いに行って
昨日起きた
コトから
ちゃんと
話して
最近みほは
情報屋さんの
所に行っちゃったから
田上くんと
話せなかったし
急がないと
田上くん
部活行くの
結構早いものね
キーン
コーン

むぎゅ
あ、ちょっと
生上くんの所に
ぽっこん
早くう
ぽっこん
早くう
ぽっこん
他の人からじゃなく
あたしの口から
話したいのに
今日に限って
成績表に
委員会なんて
美化委員会
…あれ？
んっ
むぎゅう
すみません
あたしの声みたい

檜山くん!?
ドン
帰るぞ
ぐわっし
えっ
帰りも!?
くるん
あっ
でも
その前に
檜山くんも
変化
委員会に
行かなきゃ
だよっ
あ?

同級生ら……!!
くわわ
俺が居ない時!?
もしかして
さぼってる間に勝手に決められちゃったのかな…?
貸せ
ちょっとうは思い出しつらい感しがが。
ほるの遅くなるしゅねーが
でもいつもこんな感だし
言っても大丈夫かな…?
槇山くん
あ?
帰りなんだけとね
気らなくて大丈夫だよ

大丈夫じゃねぇだろ
ギロリ
怪我してやがるくせに
てもちゃんと歩けてるし…
がし がし
はぁー
申し訳ねぇだろうがっ…
ちっ
ったく
言わせんな
がし
黙しろ
がし
…やっぱり槍山くんて

見た目と
正反対の人だなぁ
ありがとう
あたしの体って
ホントにとっても
頑丈だから
でも
もう
真任感しなくて
大丈夫だよ
それにね
二人でバイクで
登下校すると
誘拐されたり
したら
困るでしょ
だから
…あぁ

お前の男にか
えっ
あ
はい
田上くんのコト知ってたんだ
檜山くん 噂とか耳に入らなそうなのに
お前な
自分の男に言っとけ
「そこかしこで発情すんな」
ってな
!!
ぽっ
もう

もしかして
みられてたっ!?
おい
お前の男クラスは？
2-Dですが・・
え？
クラス？
来い
えっ
あの

筋通しに行くぞ
ずん
ずん
行くって…
椿山くん？
ずん
田上くんの所に…!?
ずん
そんなコトしなくて大丈夫だよっ
天風
ずん
ずん
ちゃんと自分で説明できるから
ずん
ずん

田上くん――
おい
あ…
どうしよう…
手が
…っ

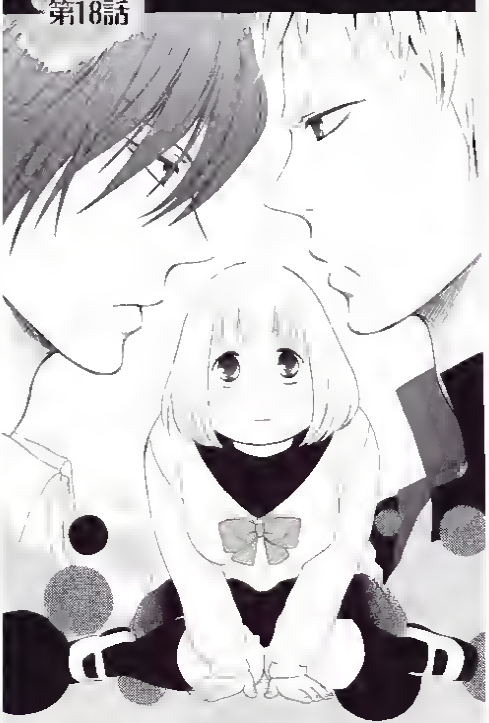
ふりほどけない…っ
その人に
触らないでくれる？
…誰だか知らないけど
…安心しろ
田上くん…

お前の女に興味はねぇよ
あたしが
もたもたしてたから
こんなコトに…っ
…！
紬…
はい…

がっ
なに…っ!?
今度は
昨日
俺はこいつに怪我させた

足が治ったら
お前の所に返してやる
それまで
こいつを
俺に預けろ
――ええ!?

第18話



「俺に
預けろ」って
いえいえ
あたし
そんなつもりは
ないですよっ
あ
あのね
椿山
紬
えっ
はい
怪我って?
あ
ん
実はね

こいつは
すべって
階段から
落ちた
俺の
下敷きに
なった
話す
機会が
ない…っ
は…
心拍数、
脈しが
激しいから
再挑戦
はっ
月日が
流れてる
今だよね
あのね
田上くん
でも
たいした
告白しやな
おおぅっ
いいい痛いですっ
だから
受け止めてやるっ
ってんだよ
今のは
握る力に
気合いが入り
過ぎてた
ような

ガッ
そーゆーことね
これが
そうと。
いいよ
俺は
預けても
…え？
でも

紬は俺の所有物じゃないんて
……
どーするかは紬に任せる
そうか
田上くんて

あたしが
他の男の子と
居ても
誤解とかしない人
なんだなぁ…
一変心
うん
とりあえず
よかった
でも
なんだか
袖子扱け
しちゃったなぁ…
こっきり
ヤキモチ焼く人だと
思っちゃってた
から…
本当に
いいの？

ゆき
異味ないって言ってんし
わざわざ俺に事情言いに来たんならホントなんじゃないの
それに
あの人の良さ
フツーの人には分かんないでしょ
靴 履きかえてないけど？
ピタ

「フツーの人には分かんないでしょ」
まあ あんだけ 振られて よく我慢してたけど
…だといいけど
世の中
何が起こるか分からないからね
そうか…
ヤキモチつて 全く 妬かれないと

少し残念なものなんだねぇ…
なんて贅沢なんだろ
あはは
でも
きっとこれは
「俺に生せ」
信頼されてるってコトなのかも知れない
だからやっぱり

ちゃんと
断らなくちゃ
ギロリ
断らなくちゃね
なんだか
しらまれてる
みたいだけど
おい
はい？
断らねぇのか？
いいのかな？
え？
ぺこり
はいしゃあ
断らせて頂きます
え

〒 000-0003
東京都千代田区
神田 駿河町 2-2-2
白鯨社 花ゆめ編集部
平間 要

お便りは出来ましたか
全て大切に読ませて
頂いております。
本当にありがとう
ございます。
大きなまえです。

一緒にお仕事したり
また同番で
二人に逢って頂けて
頂けると嬉しいです。

それでは
2015 秋 平間要

真面目だよな
本橋さんなら大丈夫だよ
言い訳くし仕事は丁寧だし
でも
前の彼氏もやった時
ホントは
そうっスよ！
自分、本橋先輩のマジ尊敬してるっス！
遅刻しゃね
だよな～
本橋さん以外考えられないよね～
そうっスよ！
分かりました
頑張ります

ては
決まったね
はい
そもそも
あたしが
ちゃんと聞いて
なかったんだし
何より
もう決まっちゃった
コトだものね
ガラ
今日の当番
なんスが
先輩!
自分
今から急に
妹を迎えに
保育園まで
行かなきゃ
いけなくなり
まして
風邪で
それなら
あたしが
代わるよ〜
いいん
スが!?
喜んで
ありがとう
ございます

ふーと
裏庭の掃除だったね
ふぅ
あー
お疲れ
そうそう
私に来てもらってるかなぁ
ニヤニヤ
一人だとちょっと荷重かかりそうだけど
まぁなんとかなるかなぁ
ぐいっ
よーし
ゴゴゴゴゴゴ
あれ
檜山くん
はっ
帰りのコトすっかり忘れてた

怒らせちゃったかな…
お前
お人好し過ぎるぞ
お前なら大丈夫ってつって
結局
面倒くせぇこと押し付けられただけだろ
え…
そうかなぁ

証明されてんだろ

今

さっきのあいつも

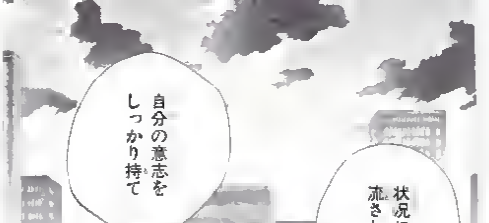
えらそーに

本当は用事なんてないかも知れねぇだろうが

昨日だってな

怪我してる奴がしてねぇ奴の心配なんてする必要ねぇんだよ

「檜山くんはどっか痛いトコないの？」


状況に流されるな
自分の意志をしっかり持て

自分の事は二の次で
他人の事ばかり優先するな
じゃねえとお前
このままずっと損ばっかだぞ
「美味しんぼ」

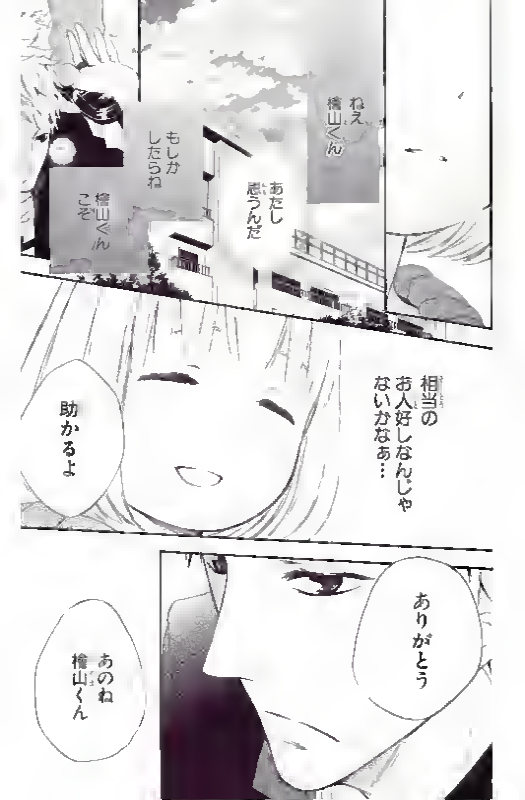
「先生の所
行くんでしょ
ついでにコレ
持っていって
くれる？」
「君との
思い出
お願い」
「あ
うん」
「預かるね」
そうかも
知れないね
そんな時も
あったのかも
知れない
でもね
「大変だな」
「手伝うぞ
むぎ」

その顔は
笑顔になるんだよね
それを
みれた時
なんだか
自分も笑顔になれるから
本当に困った人の
役に立てた時
ありがとう

それだけでもね
得した気がするの
はぁー
ガーガー
呆れられ右手つだかなあ

え？

…ったく
底なしだな
お前は
あるだろ
ゴミ袋
よこせ
え？


ねえ
檜山くん
あたし
思うんだ
もしかしたらね
檜山くんこそ
相当のお人好しなんじゃないかなぁ…
助かるよ
ありがとう
あのね
檜山くん

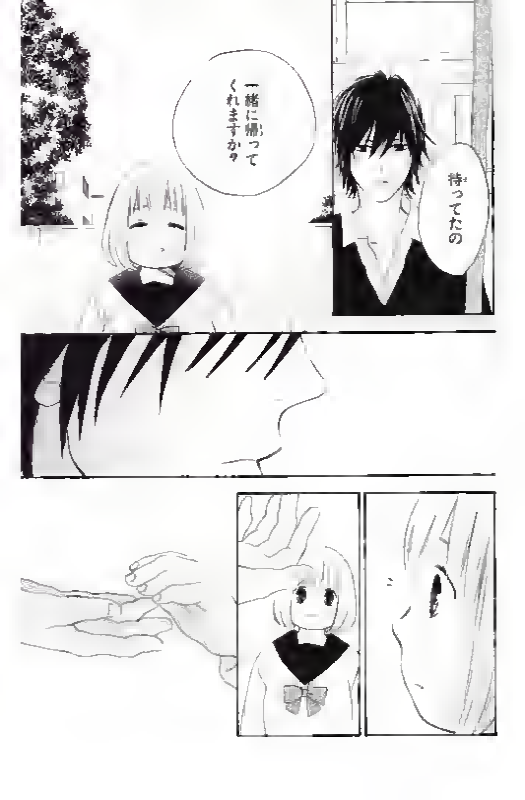
ハイクの迎え
お断りします
自分の足で
ちゃんと
歩けるから
おっまえ
俺の時だけ
はきはき断り
やがって
強引で
人の話は
聞かなくて
でも
流されるなって
槍山くんが
言ってくれたんだよ
いつも
尾崎にシワて

きっと とても…

上出来だ

多分
あたし

珍しいモノ
みれちゃった
かも知れない
弓道部


待ってたの
一緒に帰ってくれますか？

うん
帰ろう

ぽっちゃりさん揉み方講座

そこも好き

Special Thanks

世い子さん　さなえ氏　ほっしゃん
ナナリー　ズッキー　中村さん

ＵＣ様
担当様　丁田様
花と虫め編集部の皆様

この本に関わって下さった全ての方
そして今、読んで下さっているあなたへ
ルからの感謝を

平間 要

収録作品メモ
●ぽちゃまに　[illegible]　初掲載

花とゆめCOMICS
ぽちゃまに③

2013年11月25日　第1刷発行

著者　平間　要
[illegible]
発行人　酒井俊朗
発行所　株式会社　白泉社
〒101-8050
東京都千代田区神田猿楽町2-2
電話　編集　03-3515-2311
販売　03-3526-8010
制作　03-3526-8070
印刷所　図書印刷株式会社
装丁　小菅寿子

ISBN978-4-[illegible]-19613-6
Printed in Japan　HAKUSENSHA

●[illegible]
●[illegible]

新人ぽっちゃり、紬に弟子入り!?
次巻のぽちゃまには…?
あたしをあなたの
弟子にして下さいっ!!
ぽっちゃり女子の意地、見せます!
ぷにっ
HC「ぽちゃまに」第④巻は
2014年初夏ごろ発売予定!
最新情報は花とゆめ(毎月5・20日発売)と
twitter@pochamaniclubをチェックして♥

HC

9784592196136

ISBN978-4-592-19613-6

C9979 ¥429E

1929979004293

定価本体429円+税

雑誌43756-58

田上くんのお家で、ふたりっきり!?

ぼっちまに力ップルの春休み。
両親が不在で、しばらく家に
ひとりぼっち…という田上くんに、
ちゃんとごはんを食べてほしい脑。
そこで、田上くんちで料理をふるまうことに!
な、なんか…これって、甘い雰囲気!?
ぼっちゃり女子に触される
ほっこりラブコメ第3脑!